



上南だより

「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」

令和7年5月30日 第3号

江戸川区立 上一色南小学校

【魔の6月】をしっかりと乗り切る

校長 三田 智

先週の金曜日「上南の子まつり（昔遊び集会）」が、昨日全学年の「らんらんフェスティバル」が無事終わりました。いずれの取組でも子どもたちのすばらしい姿をたくさん見る事ができました。上南の子まつりでは、5・6年生が自分たちの役割を果たしながら下級生に優しく接していました。低・中学年の子どもたちもルールやマナーを守りながら楽しそうに活動していました。らんらんフェスティバルでは、どの学年の子どもたちも今もっている自分の力を精一杯発揮しようとトラックを駆け抜けていました。**一生懸命な姿、全力の姿は見えてとても清々しいものでしたし、こうした姿勢は確実に自分の力を伸ばすことにつながります。**6月も子どもたちの「チャレンジ精神」高められるよう努めてまいります。

私たちの業界では、【魔の6月】という言葉があります。この言葉は、1学期の折り返しとなる6月は、新しい環境にも慣れ、いい意味の緊張感が緩み出すとともに、大きな行事（運動会を1学期に実施する学校は5月末の実施がほとんど）を終えて次の目標がもちにくく、**子どもたちの学校生活が乱れやすくなる**ことを表現したものです。学校は学習のみならず集団生活を学ぶ場でもあり、集団で生活していれば、時に友達と意見がぶつかったり、時にトラブルやけんかが起きたりします。子どもたちはそうした経験の中で、「がまん」や「切り替え」、「譲り合い」等を学んでいきます。もちろん、こうしたトラブルをできるだけ起きないようにする、少なくする**【未然防止】**は重要です。しかし、正直「0（ゼロ）」にするのは難しいことですし、大人があまりにも先回りし過ぎて問題を回避してあげてしまうと、子どもの経験・成長の機会を奪うことになってしまう場合もあります。その際、大切なのは**【早期発見】と【初期対応】**。大人は子どもたちの様子に目と気を配りながら、「適切な距離感」で子どもたちの成長を支えることが必要です。何か子どもたちの様子で気にかかることがあれば学校に御連絡ください。いただいた情報をもとに、すぐに子どもたちから聞き取りを行うのか、子どもたちの様子を共有したうえで現段階では見守るのか、クラスや学年で全体指導を行うのか等々、保護者方との合意形成を図りながら今後の対応を検討・実施していきたいと考えております。**【魔の6月】をしっかりと乗り切ることができるよう、保護者・地域の皆様と手を携えながら、協力し合って教育活動を進めていきたいと思ひます。**

6月は、来週に「体力テスト」があり、第2週には「水泳指導」も始まります。そして、14日（土）が「学校公開日」となっております。水泳指導については5月23日に、学校公開については5月26日に tetoru で詳細を配信しておりますので、改めてそちらを御確認ください。学校公開には大勢の保護者・地域の皆様の御来校をお待ちしております。6月もどうぞよろしくお願いいたします。